精神科専門医プログラム

定員 8名

プログラム責任者
精神科学講座
三島　和夫 教授

専門研修担当者連絡先
竹島　正浩　講師
TEL.018-884-6122　FAX.018-884-6445
E-mail　m.takeshima@med.akita-u.ac.jp
HP　https://www.med.akita-u.ac.jp/~seisin/senmonkenshuupro.html

プログラムの特徴

本プログラムの精神科専門医コースは、生涯学び続けるよき精神科医師を養成することを目指します。具体的には、⑴精神科救急の拠点における研修を経験する、⑵総合病院と精神科専門病院の両者の経験を積む、⑶精神保健指定医取得に必要な症例を経験する、⑷地域医療を守る、⑸医学向上のためのResearch mindを養成する、の5つを柱として研修を受けていただきます。

本プログラムは秋田大学医学部附属病院を基幹病院とし、秋田県内18施設、岩手県1施設の19の連携施設群より構成されます。大学病院における教育研究、総合病院と救急拠点病院における専門研修、精神科専門病院における地域医療に密着した研修と、幅広い領域の精神医療の経験を積むことができます。大学病院では高度専門医療や児童思春期患者の診療、救急拠点病院では急性期患者や触法患者への対応、総合病院では身体合併症の管理や緩和医療、リエゾン精神医学などの研修が可能です。精神科専門病院では、地域連携による精神科リハビリテーションや就労支援などについてより研鑽を積むことが出来ます。

基本的にプログラムは専攻医自身の希望、能力に合わせたアレンジが可能であり、産休や育休などにも柔軟に対応します。専門医取得までの3年間、同じ指導医が責任を持って一貫性のある教育にあたり、上級医がそれをサポートする体制を確立しています。

秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座は、睡眠-覚醒障害、気分障害、自己免疫性脳炎などの病態生理や診断治療に関する先端的な研究を行っています。また、各種の向精神薬の適正使用について厚生労働省の研究班を用いてガイドラインを策定するなど精神科薬物療法の向上に貢献しています。関心のある方にはこれらの臨床研究にもご参加いただけます。

精神科が対象とする疾患はうつ病や神経発達症、認知症など大きな社会問題となっている疾患のほか、司法精神医学（触法患者）、災害精神医学（被災地支援を含む）など多岐にわたります。統合失調症や気分障害など今後の研究により画期的な診断治療法が登場する可能性がある疾患が数多く残されており、臨床、研究の両面から非常にやり甲斐がある医学領域です。

私ども精神科学講座は自由闊達がモットーで、皆、和気藹々として仲の良いのが自慢です。皆さんが仲間に加わってくれるのを心からお待ちしています。充実した研修を経て精神科専門医資格を取得できるよう最大限のサポートをお約束いたします！

プログラムの説明

一年目は、32時間を基幹病院で、8時間を地域病院で研修を行います。基幹施設では精神科診察の基本、疾患の知識、診断、治療などに関して、指導医のもとで総合的な経験を積んで貰います。幅広い症例と治療場面を経験することができます。また修正電気けいれん療法やクロザピンなど,難治性や治療抵抗性の精神疾患に対する高度な治療を経験することも可能です。地域病院は、連携施設群の病院のいずれかになります。

二、三年目は秋田大学病院以外のすべての研修連携施設が研修の候補施設となります。救急拠点病院（能代厚生医療センター、市立秋田総合病院、県立リハセン、横手興生病院、南光病院など）では救急症例、総合病院（中通総合病院、秋田赤十字病院など）ではリエゾン精神医学や身体合併症症例、精神科専門病院（秋田回生会病院、協和病院、市立大曲病院など）では物質関連障害や認知症の症例を専攻医が主体となり重点的に経験してもらいます。二年目はより積極的に治療に関わってもらい,急性期症例のファーストタッチから治療導入,患者主治医間の良好な関係作り,退院へ向けてのケースワークや社会資源のマネージメントを行います。また適切な症例があれば,全国規模の学会で発表を行います。

三年目はこれまでに学んだことをブラッシュアップさせ,指導医から自立して診察･診断･治療にあたります。また二年目と同様に症例報告などの論文投稿を行います。社会人大学院生として大学院に進学し臨床研究を開始することも可能です。研究テーマ、施設は皆さんの希望も勘案して決定します。

上記は凡例であり、個人の事情や能力に合わせてアレンジなどは可能です。精神保健指定医の取得に必要な症例に関しては、確実に経験できるよう研修施設群と調整します。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設 など

■各種資格･学会専門医

精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、日本睡眠学会認定医、日本老年精神医学会認定専門医、日本臨床精神神経薬理学会専門医、日本総合病院精神医学会一般病棟連携精神医学専門医

■指導医

日本精神神経学会指導医、日本老年精神医学会指導医、日本臨床精神神経薬理学会指導医、日本総合病院精神医学会一般病棟連携精神医学指導医

出身地は秋田県、埼玉県、東京都、神奈川県、大阪府、高知県など

■医局員の出身大学

秋田大学、弘前大学、岩手医科大学、金沢大学、東京女子医科大学、北里大学、神戸大学、熊本大学など。

出身地は秋田県、青森県、福島県、埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県、愛知県、大阪府、高知県、宮崎県など。出身地･大学は気にせず、和気あいあいとやっています。

■施設認定

○日本精神神経学会専門医制度基幹病院

日本老年精神医学会認定施設、日本睡眠学会認定医療機関（A型）、日本臨床精神神経薬理学会専門医研修施設、日本総合病院精神医学会専門医研修施設

○新専門医制度連携施設群（秋田県内18施設、岩手県1施設）

秋田県立リハビリテーション精神医療センター、能代厚生医療センター、市立秋田総合病院、秋田赤十字病院、中通総合病院、横手興生病院、南光病院（岩手県一関市）、市立大曲病院、杉山病院、今村病院、秋田緑ヶ丘病院、清和病院、秋田東病院、秋田回生会病院、加藤病院、協和病院、笠松病院、菅原病院、象潟病院

●一年目は平日4時間、週2回地域医療研修があります。

●社会人大学院は専攻医の希望するタイミングで入学可能です。

※凡例であり､専攻医の希望､基幹施設の状況に応じ変更となることもあります。

※サブスペシャリティ領域は日本睡眠学会専門医,日本老年精神医学会認定専門医,日本臨床精神神経薬理学専門医,日本総合病院精神医学会一般病棟連携精神医学専門医,日本児童青年精神医学会認定医など取得可能です。

■取得までのキャリアパス

1年目	大学病院32時間	地域医療 8時間
2年目	選択制（どの病院でも可）40時間	
3年目	選択制（どの病院でも可）40時間	

- 一年目は平日4時間、週2回地域医療研修があります。
- 二年目はすべての連携施設を選択できます。
- 社会人大学院は専攻医の希望するタイミングで入学可能です。

※凡例であり、専攻医の希望、基幹施設の状況に応じ変更となることもあります。